



第56号
令和7年7月20日
貝塚中学校区
青少年育成委員会

「コンパス理論」で前進

貝塚中学校区 日暮 規夫
育成委員会会長

本年も猛暑・猛暑？新入生も学校に慣れ授業、部活動等に躍動していることでしょう。

昨年度は久々に、研修旅行を実施した。子供たちも参加、防災体験ツアー（東京消防庁・本所防災館）では、地震・暴風雨体験等を体感した。ビニールカップ・長靴を履き、いざ始動。風・雨の強さに歓喜。皆、防御に苦戦、数分の体験だったが、子供たちは満足、笑顔だった。本年度も計画中です。

総務省では一五歳未満の子供の推計人口を発表。前年より三十五万人少ない一三六六万人で、四十四年連続で減少・最小となった。要因は、種々ある事でしようが、未来を担う若者です。健やかな成長を見守ることが肝要ではないでしょうか。

「コンパス理論」(福沢諭吉)に目を留めました。「コンパス」の「一本脚は自由自在に変化」するが、他の一本の脚は一点に固着して決して動かない。その脚は個人の思念・考えを確立することから成り立っている。その過程で教育や経験(体験)が必要です。それを基礎(基点)として、他の一本は自由自在に伸縮して小円・大円を描く、即ちどんな円を描くかは起点となる基礎が大切であると説く。
当委員会の活動について再確認し「和」を広げましょう。

交通安全指導・環境整備等、種々の活動を推進し、子供たちの健全育成に向け、学校・PTA・地域が丸となって推進することが不可欠です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

青少年育成委員会と共に

貝塚中学校 校長 廣岡 徹彦

千葉市立貝塚中学校、校長の廣岡徹彦です。
本校二年目になります。よろしくお願いいたします。

令和七年度がスタートしまして、新たに特別支援学級を一学級開設しました。生徒数六一五名、職員数四一名、一九学級で四二年目を迎えました。

○校訓に「自主・創造・練磨」
○学校教育目標に

「豊かな心と確かな学力を持ち健やかに生きる生徒の育成」
○目指す学校像として「明るく元気な挨拶」

「花と笑顔」「歌声の響く学校」「地域から愛される学校」を掲げ取り組んでいます。

おかげさまで、子どもたちは、三年生がリーダーシップをとり、学習、部活動、係活動、委員会活動、ボランティア活動、行事では、生徒総会、修学旅行、体育祭では、保護者、地域の方々に、子どもた

ちの活躍を見ていただきました。七月五日から始まる千葉市総合体育大会、各発表会に向けて、気合を入れて活動しています。
今後この素晴らしい地域の愛情を受けて子どもたちが成長していくことを願っています。

生徒たちの成長と地域への感謝して

貝塚中学校 教頭 藤本 裕木

このたび、こてはし台中学校より赴任いたしました藤本裕木です。よろしくお願いたします。貝塚中学校に着任してまず感じたことは、生徒の皆さんがきちんと挨拶をしていることです。なかなか挨拶ができない中学生が多いと言われるなか、通り過ぎた後にわざわざ振り返って挨拶してくれる生徒の姿に、不安だった気持ちが一気に安心へと変わりました。新年度が始まってから数か月が経ち、生徒たちの表情にも落ち着きと自信が見られるようになってきました。学校全体に落ち着いた雰囲気があり、生徒たちは日々の学習や活動に意欲的に取り組んでいます。5月に実施された体育祭では、生徒たちが全力で競技に取り組む姿がとても印象的でした。残念ながら地域の皆様にはご来場いただけませんでした。が、保護者の皆様、来賓としてお越しいただいた学校評議員の皆様には、生徒たちの真剣な表情や仲間を応援する温かい姿を見ていただくことができました。限られた環境の中でも、生徒た

ちは自分たちの力で行事を盛り上げようと工夫し、協力し合う姿勢が随所に見られました。

現在、2年生は秋の自然教室に向けて準備を進めています。班ごとの話し合いや役割分担を通して、協調性や責任感を育んでいるところです。1年生はまだ大きな行事はありませんが、日々の学校生活の中で、少しずつ中学校生活に慣れ、仲間との関係を築いています。また、7月5日から始まる千葉市総合体育大会や各種コンクール、発表会に向けて、放課後の部活動にも熱が入っています。目標に向かって努力を重ねる姿は、学年を問わず頼もしく感じられます。

まもなく夏休みが始まります。学校では事件や事故に巻き込まれないよう、休業前の指導を徹底してまいりますが、休み中の安全確保には地域の皆様のご協力が欠かせません。今後とも、安心・安全な地域と学校づくりのために、PTAや育成委員会、協力会の皆様と連携しながら取り組んでまいります。引き続き、温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

地域と共に歩む

桜木小学校 校長 今福 教子

「よく学び心豊かでたくましく生きる子ども」の育成。地域と共に歩む学校。本校の学校教育目標には「地域と共に歩む」という文言が明記されています。

今年度着任しました校長の今福です。皆様より、地域の安全や様々な行事等を通しての児童生徒の健全育成はもとより、学校の活動に対するご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

学校教育目標に記された「地域と共に」に恥じないような学校運営に力を尽くしてまいりたいと思っています。

令和七年度は、新入生一〇〇人を迎え、通常の学級二三、特別支援三の計二六学級、六八三人でのスタートとなりました。着任して最初に感じたことは、挨拶ができる子が多いということです。このことについても、セーフティーウオッチャーをはじめとした地域の皆様のお陰であると感じております。とはいえ、まだ「自分から」「相手の目を見て」「元気に」挨拶できていないと感じられることも多いかと思えます。そのような時には、どうぞ遠慮なさらずにその場で声を掛けていただきたいと思います。子供たちの望ましい成長のために、学校と地域、保護者とが手を携えてまいれますようご協力いただけますと幸いです。

地域に支えられて

桜木小学校 教頭 吉田 隆之

昨年度桜木小学校に着任いたしましたし、今年二年目となります。桜木小教頭の吉田です。今年度もよろしくお願いいたします。桜木小学校勤務も二年目となり、改めて地域の皆様に支えられている学校だと認識を新たにしております。年間を通して各種行事、保護者、地域の方々からの協力、セーフティーウオッチャーさんたちの見守り、途切れることのないご支援を日々いただいております。そういったご支援のおかげで、桜木小の子供たちはのびのびと毎日元気に学校生活を送ることができております。本校

の周りは抜け道になっており、道幅が狭い割には、車の通行量が少なくありません。それでも、大きな事故なく過ごすごとができています。また放課後も子供たち同士が地域の公園等で仲良く遊ぶ様子もよくみられます。子供たちが日々安心して生活していけるのも地域の皆様の暖かなサポートがあつてこそだと思います。地域の方々の学校に対する想いの強さ、協力しようとしてくださる意識の高さを日頃から大いに感じながら過ごしてまいりました。

「あいとチャレンジ」を合言葉に

北貝塚小学校 校長 仲村 純子

令和7年度の教育活動がスタートして3か月が過ぎました。

本年度は、一四四名が入学し全校八六五名、三十学級でスタートしました。今年度も学校目標は「かかわり合いの中で 自らチャレンジする子 自分大好き 友達大好き 地域大好き」としています。特に子供たちががんばってほしいこととして、「あいとチャレンジ」を合言葉にしました。「あ」はあいさつや、ありがとう、「い」はいいところ探しです。学校は一人で学ぶところではなく、多くの人と関わりながら、お互い磨きあつていく場所です。自分の思いは心の中だけでは相手には伝わりません。どのように伝えていけばよいのかを考え、自分も相手も大切にしながらコミュニケーションとれる子供になってほしいと思います。

今年も夏休みを前に、四六六年生と保護者向けに青少年サポートセンターによるネット安全教室を行いました。携帯電話は便利で楽しい道具ですが、使い方を間違えると危険なこともたくさんあることを理解したようです。情報モラルの学習は何度も実施していきます。

今後とも子供たちの安心安全な生活、健全な成長のために、地域の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

「安心・安全な学校」を目指して

北貝塚小学校 教頭 田口 茂人

四月から北貝塚小学校での勤務となり、まだ三か月しか経っていませんが、北貝塚小学校が地域に支えられていると感じることが幾度もありました。

まず、運動会におけるPTAや地域、保護者の皆様の支援です。本校は児童数に対して校庭の面積が狭いのが現状です。運動会を参観される方々へも、参観スペース等でご迷惑をおかけしました。その中でも、皆様のご理解とご協力のおかげで、安全に運動会を行うことができました。

次に、登下校におけるセーフティーウオッチャーや地域、保護者の皆様による見守りです。急な天候不良等があつた際も、交通安全の見守りを行ってくださる方々がいらつしやう、子どもたちの安全が守られています。本当にありがとうございます。

北貝塚小の子どもたちが地域の皆様

に見守れながら、安心・安全な環境で育っていると感じました。

七月二十二日より、子どもたちは楽しみにしている夏休みが始まります。子どもたちが事件や事故に巻き込まれないよう、学校でも指導を行ってまいります。休業中は地域の皆様のご協力が欠かせません。今後とも、安心・安全な地域・学校づくりのために、皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

青少年育成委員会 事業計画

- 4/6 交通安全指導
- 7/5 地域ぐるみ一斉点検パトロール
- 7 浴衣着付け教室
- 7/19～8/31 夏休み対策諸活動
- 8 サマーイベント
- 8 標語コンクール
- 9/1 交通安全指導
- 9/20～9/26 青少年の日・家庭の日フェスティバル
- 9/27 つがつフェスタ 2025
- 10/29 貝塚祭
- 11/15 桜木つ子まつり（桜木小）
- 12/6 地域ぐるみ一斉点検パトロール
- 12/24～1/5 冬休み対策諸活動
- 1/6 交通安全指導
- 2/7 書き初め展

あ と が き

昔から恩を受けた方へ返すことは恩返しと言われてきました。この場合は一対一の構進んで、受けた御恩を別の相手に渡してゆき結果的に輪を広げるものを恩送りと言います。ぜひ将来困っている方へ手を差し伸べてください。

前島孝夫